HORIBA AdvancedTechno

ISO9001 JQA-QM4027
ISO14001 JQA-EM4530
IMS
堀場アドバンスドテクノは統合マネジメントシステム(IMS)を運用しています
JQA-OH0134 OHSAS18001

自動全窒素・全りん測定装置

PN-120

純水装置と廃液タンクを内蔵した省スペース・スリムタイプ。

ご好評いただいている自動全窒素・全りん測定装置PN-100の性能をそのままに、純水装置と廃液タンクを内蔵して新登場。見た目にもスッキリ、狭いスペースでの設置に最適です。

●写真は下段の扉を開けた状態のものです。

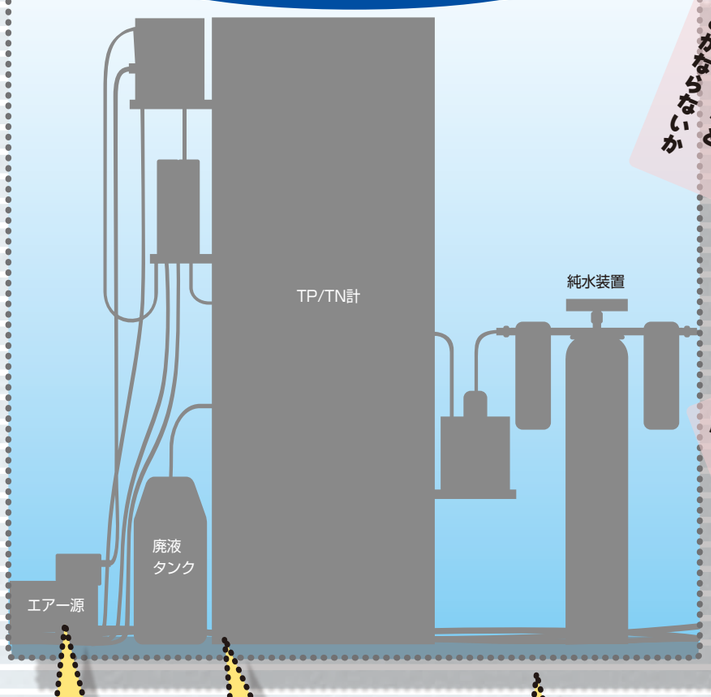
もっとスッキリした省スペースな装置はできないの？

こうしたお客さまの不満の声が多かった、従来のTP/TN計。TP/TN計では純水が必要なため、装置本体の周辺に純水装置を設置しなければならず、それに伴うスペースロスや多数の配管・配線の引き回しなど、レイアウトと設置工事の簡素化の面でも問題がありました。

「充分なスペースがない！」

場所が狭いので外付のパーツなどなんとかならないか

従来TP/TN計設置の場合



「エアー源もいるの？」

「配管や配線がゴチャゴチャして見苦しい！」

「見た目にも計測室のレイアウトをスッキリしたい。」

点検などの際に身体をぶつけそうになる

「廃液がこぼれたら大変だ！」

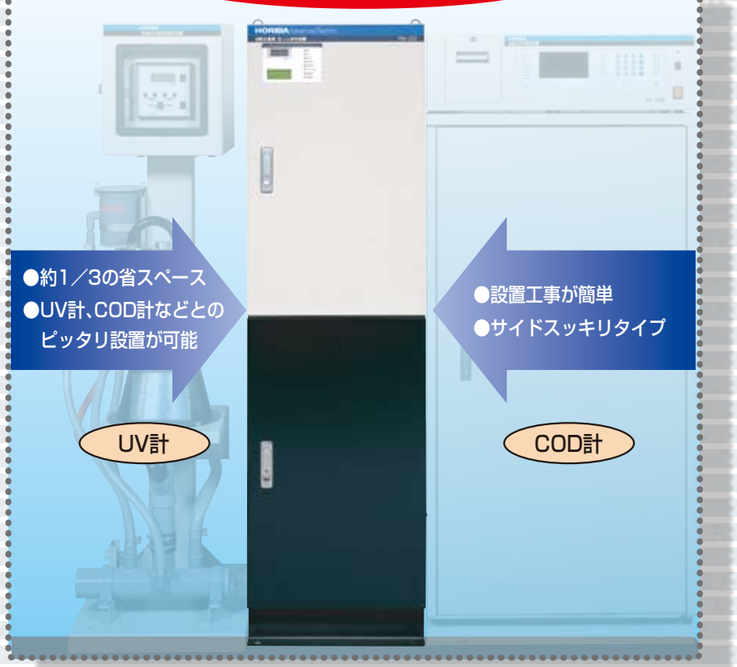
薬品廃液は安全管理上からも内蔵してほしい

スッキリ・省スペース 一目瞭然。

そんなお客さまのご要望にお応えしました。

PN-120は純水装置と廃液タンクを内蔵した両サイドスッキリタイプ。
他社装置に比べて約1／3の省スペースを実現。狭いスペースでの設置に最適です。
メンテナンスや試薬の交換も容易で、安全面でも他社装置に大きく差をつけます。
当社の技術は、性能でも外観・設置工事でもお客さまの声をカタチにしています。

当社PN-120設置の場合



純水装置と廃液タンクを内蔵

小型純水装置の採用で、廃液タンクとともに本体に内蔵。大幅な省スペースを可能にしました。

ダブルセンサの採用でさらに高精度計量を実現

2個のセンサによる計量検出方式の採用で、さらに高精度な計量を実現しました。

新サンプリング方式※で汚れを防止

試料水吸引口は約30分間エアークリーニング(逆洗)後、試料水面上で待機しますから、汚れの影響を受けません。

エアークリーニング(逆洗)

待機中

※試料吸引口と試料導入管は2回の純水洗浄とエアーパージにより清浄化されます。また、この間試料吸引口のフィルタは試料に浸漬された状態で、約30分間エアークリーニング(逆洗)を行いますので、フィルタの汚れ、付着物をきれいに除去します。

試薬消費量を従来の1/15まで低減

測定廃液を業界最少の1/5に低減

純水使用量を1/10に低減

トータルランニングコストを1/2に低減

- TP/TN負荷量演算機能内蔵
- 一体型セルで小型化を実現
- 屋外架台への収納可能
- 調製済試薬をパック販売
- 海水混入サンプルにも対応可能(オプション)

自動全窒素・全りん測定装置　PN-120

仕様

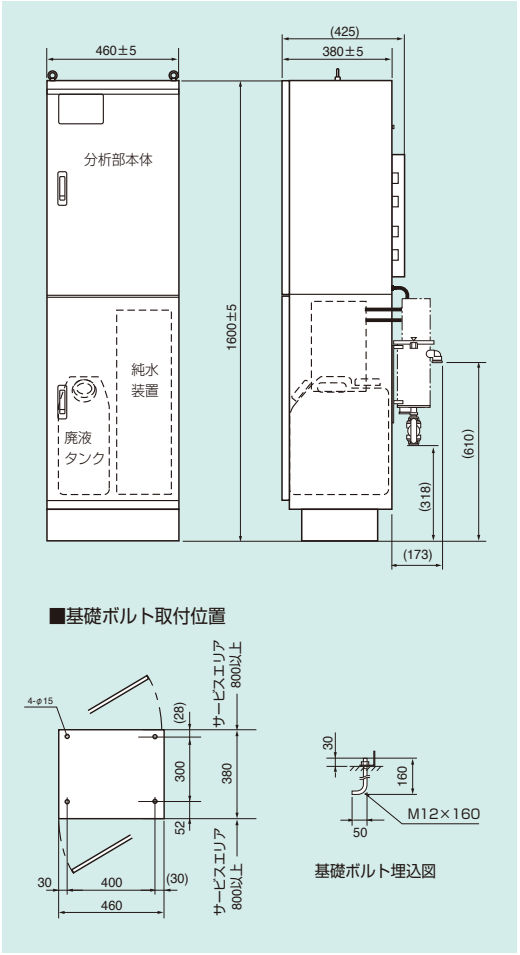
製品名	自動全窒素・全りん測定装置
形式	PN-120
測定原理	全窒素：アルカリ性ペルオキソニ硫酸カリウム・紫外線酸化分解ー紫外線吸光光度法 全りん：ペルオキソニ硫酸カリウム・紫外線酸化分解ーモリブデンブルー吸光光度法
測定レンジ	(標準レンジ) 全窒素：0～2 mg/L（海水補正仕様は0～5 mg/L 以上） 全りん：0～0.5 mg/L (オプション) 1段希釈／全窒素：0～5/10/20/50 mg/L 全りん：0～1/2/5/10 mg/L 2段希釈／全窒素：0～100/200/500/1000 mg/L 全りん：0～20/50/100/250 mg/L
測定レンジ数	1レンジ(標準)：ただし全窒素・全りんとの間には以下のレンジ比の範囲内であること。 0.2≦ (全窒素フルスケール) ／ (全りんフルスケール) ≦100 2レンジ(オプション)：ただしレンジ比制限あり。
測定点数	1点 (2点：オプション)
測定時間	60分
繰返し性	±3%フルスケール以内 (標準レンジ・1段希釈レンジ) ±5%フルスケール以内 (2段希釈レンジ)　(いずれも標準液にて)
試料水条件	温度：2～40℃ 流量：0.5～5L/min(オーバーフロー槽の流量)
純水条件	使用量：70L/月 (1段希釈仕様) (ただし測定レンジにより純水の使用量は増減します。) 性状：窒素・りん化合物を含まないこと
アナログ出力	(測定値) 測定点数と同数 (負荷量) 測定点数と同数　(DC4～20/0～16mA切替可能)
アナログ入力	流量計(流量値) 入力 (DC4～20mA)
接点入力	測定開始・校正開始・時刻修正・流量計保守中・流量計故障・流量計電源断・ 流量計排水なし・測定ライン選択(2点計オプション)
接点出力	測定中ライン1(ライン2はオプション)・校正中・待機中・保守中・電源断・同期信号・ 濃度警報(上限のみ)・負荷量警報(上限のみ)・装置異常・試料水断・試薬不足・純水断・ 廃液タンク満水・スパン液不足
環境設定	カレンダー・濃度警報(上限のみ)・負荷量(上限のみ)・補正係数(窒素・りんおよびライン毎)・ 測定ライン選択・測定スケジュール・校正周期・運転周期・同期信号・スパン液濃度設定・ 測定成分選択(TNのみ/TPのみ/TN・TP2成分)・プリント設定・時刻修正・制御方法
印字仕様	電源ON/OFF時刻・測定値・校正値・負荷量・アラーム情報・メモリデータ(2ヶ月)・日報
画面表示内容	日時・測定値・校正値・負荷量・エラー内容・履歴データ・工程内容・各種警報
通信出力	RS-232C出力
電源	AC100V±10V・50/60Hz
消費電力	約400VA
質量	約80kg
外形寸法	460(W)×425(D)×1600(H)mm
塗装色	分析部：マンセル 5Y7/1、タンク部：マンセル N1
周囲温度	2～40℃
周囲湿度	85%以下(結露無きこと)
設置環境条件	●振動、衝撃の少ない平坦で安定した場所 ●雰囲気中にダスト、ミスト、腐食性ガス等を含まないこと ●大気圧下 ●直射日光の当たらない場所 ●換気のよいところ

当社は[電気・機械器具設置一式工事業]の認可を取得しています。
計測器の納入から設置工事まで、幅広くご用命ください。

一般電気工事業
(京都府知事許可　第31979号)

一般機械器具設置工事業
(京都府知事許可　第31979号)

外形寸法図(mm)



自動全窒素・全りん測定装置 PN-100シリーズ

PN-100

試薬消費量の極限までの低減、年間交換部品の大幅な低減、さらに測定廃液の低減などランニングコスト、メンテナンス性、環境負荷まで、すべての面でこのクラス最高のスペックを誇ります。

PN-155［UV計一体型］

窒素・りん計とUV計を一体化。
これ一台で総量規制に必要な3成分／
窒素・りん・UV(COD)の測定が可能です。

⚠ <安全に関するご注意> 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をお読みください。

●カタログの記載内容は、改良のため予告なく変更することがあります。●カタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。
●カタログに記載されている内容の一部または全部を無断転載する事は禁止されています。

株式会社 堀場アドバンスドテクノ

http://www.horiba-adt.jp

本　　社／〒601-8306 京都市南区吉祥院宮の西町31番地
TEL(075)321-7184　FAX(075)321-7291
東京営業所／〒101-0031 東京都千代田区東神田1丁目7番8号(アルテビル東神田4F)
TEL(03)3851-3150　FAX(03)3851-3140
名古屋営業所／〒461-0004 名古屋市東区葵3丁目15番31号(住友生命千種第2ビル6F)
TEL(052)937-0812　FAX(052)937-0675
●サービスステーション　京都(075)321-7972　東京(03)3851-3150　名古屋(052)937-0812

カタログNo. HAJ-T0124C　[Recycled Paper]　Printed in Japan　0903SY13